



TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニューズレター

Today's news Flash

サッカー競技少年男子 初優勝!!

サッカー競技少年男子決勝戦が、和歌山県上富田町の「上富田スポーツセンター球技場」で行われた。福岡県は、この決勝戦まで、4試合1失点と堅い守りで勝ち進んできた。決勝戦では、2連覇を狙う神奈川県との対戦となった。今国体最多得点者(決勝時点)を擁する相手に、福岡県はこの決勝戦でも粘り強い守備をし、苦しい展開が続くも決して相手にゴールを許さなかった。前後半70分間を0-0で終え、延長戦でも両者譲らずスコアレスドロー。この結果、大会規定により両県優勝となり、福岡県のサッカー競技少年男子は国民体育大会において初の優勝を成し遂げた。



～ 木下監督のコメント ～

初優勝を果たしたサッカー少年男子チームの木下監督に、その要因について分析いただいた。

(1) 高水準のチームビルド

今回のメンバーは、多くのチームから幅広く優秀な人材を集めたことから、チーム意識を醸成することはできたが、その分、連携したプレーが困難になるリスクもあった。これを補うため、各ポジションに指導者を配置し、ポジション別のトレーニングに時間をかけた結果、意識・連携共に優れたチームに仕上がった。

(2) コンセプトの明確化

「負けないチーム」、そのために「守りきる」をチームコンセプトと位置づけ、選手・スタッフの全員に共通理解を持たせると共に浸透化させた。

(3) 情報戦略

自チームの試合映像と次対戦チームの試合映像を分析し、チームコンセプトに基づくプレーができていたかの確認と、対戦相手のウィークポイントを選手にイメージ化させた。特に初戦の入り方を重要視し、時間をかけた結果、現地入りしてもチームの意識が乱れることなく、2試合目以降の戦いに良い影響を与え、維持することができた。2試合目以降の情報活用ポイントは、あまり時間をかけず、ポイントを絞ってシンプルに行い、選手の中に良いイメージを持たせることを意識した。

(4) 選手のメンタルコンディション

選手の心理状態のコントロールを意識した。現地に入ると、気持ちが先走る選手や、反対に緩む選手がでることがあり、チーム意識が崩れる要因ともなる。選手には緊張感を維持させながらも、気持ちが先走る事がないよう注意した。モチベーションビデオの使用も検討していたが、この点を懸念して使用を中止し、(1)～(3)に専念した。

木下監督は、今回の勝利に貢献した選手・スタッフの全てに感謝しながらも、今回の成果が今後の福岡県サッカーの更なる競技力向上に貢献できるものとなるよう、福岡県立スポーツ科学情報センターとともに、更なる勝因分析を行いたいと語った。



馬術競技、和歌山で活躍

馬術競技が、兵庫県三木市の「三木ホースランドパーク」にて行われた。成年男子ダービーにおいて仁田原志起選手が3位入賞、少年スピードアンドハンディネスでは吉田選手が優勝、成年男子スピードアンドハンディネスでは上野選手が7位入賞、成年女子ダービーでは昨年度国体同種目5位だった古川選手が前年より順位を上げて4位入賞、少年標準障害飛越にて仁田原知毅選手が優勝するなど、前年を上回る結果で2日目を終えた。馬術競技は10月1日から5日までの5日間あり、競技はあと3日間残っている。馬術競技における福岡県選手のさらなる活躍に期待がかかる。



RESULT

◇陸上競技

〈少年男子〉

100m 南山 義輝 : 予選3位(準決勝へ)

800m 舟津 彰馬 : 予選4位(準決勝へ)

円盤投げ 飛松 聡 : 最終2位

〈少年女子〉

400mハードル 鎌田 咲季 : 予選3位(準決勝へ)



◇ウエイトリフティング競技

〈少年男子〉

西 浩生

53kg級スナッチ:9位

53kg級クリーン&ジャーク:6位

53kg級トータル:8位

前田 魁

56kg級スナッチ:8位

56kg級クリーン&ジャーク:4位

56kg級トータル:6位

松本 和真

94kg級スナッチ:13位

94kg級クリーン&ジャーク:12位

94kg級トータル:12位



◇自転車競技

〈成年男子〉

ポイント・レース

原井 博斗 : 2位

ケイリン

小林 和希 : 2位

〈少年男子〉

ポイント・レース

貝原 涼太 : 3位

4km速度競走 今村 駿介 : 優勝



◇軟式野球

〈成年男子〉

1回戦

福岡県 2-1 宮城県

(2回戦へ)



◇相撲

〈成年男子〉

一ノ瀬 康平

準々決勝進出



◇アーチェリー

〈少年女子〉

団体 : 7位



◇弓道

〈少年男子〉近的

5~8位決定戦

濱田、彌吉、藤井 : 5位



◇カヌー

〈少年男子〉

スプリント・カナディアンシングル

今永 匠 : 8位



◇ボウリング

〈成年男子〉団体 : 2位

(渡邊・升水)



◇ゴルフ競技 最終成績

〈成年男子〉

団体:26位(長田・江口・合原)

個人:長田 真矩 5位

江口 信二・合原 豊 両選手ともに健闘

〈女子〉

団体:3位(後藤・井上・識西)

個人:井上 りこ 2位 後藤 未有 5位

識西 論里 健闘

〈少年男子〉

団体:7位(清水・矢野・古川)

個人:清水 大成 8位

古川 雄大 26位 矢野 圭介 35位



Today's Fukuoka

【10月3日現在】

順位	都道府県	得点	順位	都道府県	得点
1	東京	1596	6	神奈川県	1184.5
2	和歌山	1528.5	7	千葉県	1157.5
3	愛知	1361	8	福岡	1045
4	埼玉	1338.5	9	北海道	1043
5	大阪	1290	10	長野	998.5

10月3日現在福岡県は8位である。7位の千葉とは現在、112.5点差である。今後決勝を控える競技もあるため、総合成績の変動に目が離せない。

国体の情報については、大会ホームページ(下記アドレス)より、御覧ください。

<http://www.wakayama2015.jp/kokutai/>

【発信元:公益財団法人福岡県スポーツ振興センター スポーツ振興課 企画情報係】